

第 2 3 回
全国国立大学病院集中治療部協議会
議 事 録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

当番校 金沢大学附属病院

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

第23回全国国立大学病院集中治療部協議会日程・議題

1. 期 日 平成20年3月7日（金）

2. 会 場 金沢大学医学部記念館

3. 日 程

受 付 13:00～13:30
開 会

・当番大学病院長挨拶 13:30～13:40

・議長選出

・文部科学省挨拶 13:40～14:10

高等教育局医学教育課 大学病院支援室病院第二係長 西山隆宏

・特別講演 14:10～15:10

「DPC と ICU」

産業医科大学医学部公衆衛生学 教授 松田晋哉

（休 憩 15:10～15:25）

・議 事 15:25～17:00

（1）協議事項

①集中治療医学会主導の機能評価調査について（名古屋大学）

②大学病院における ICU と HCU の管理について（鳥取大学）

（2）その他

（3）次期当番大学選出について

閉 会 17:00

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

9

出席者名簿

NO.	大学名	役職名	氏名	役職名	氏名
1	北海道大学	部長	丸藤 哲		
2	旭川医科大学	部長	郷 一知	講師	小北 直宏
3	弘前大学	副部長	坪 敏仁		
4	東北大学	重症病棟部副部長	星 邦彦		
5	秋田大学			看護師長	佐藤 幸美
6	山形大学	副部長	小田 真也		
7	筑波大学	部長	水谷 太郎	看護師長	川口 寿彦
8	群馬大学	副部長	国元 文生	看護師長	引田 美恵子
9	千葉大学	部長	織田 成人		
10	東京大学	部長	矢作 直樹	副部長	田中 行夫
		助教	山口 大介		
11	東京医科歯科大学	部長	三高 千恵子		
12	新潟大学	部長	遠藤 裕	副部長	風間 順一郎
13	金沢大学	部長	稲葉 英夫	副部長	後藤 由和
		看護師長	田中 三千代		
14	福井大学	副部長	石本 雅幸		
15	信州大学	教授	川眞田 樹人	看護師長	下村 陽子
16	岐阜大学	部門長	白井 邦博		
17	浜松医科大学	副部長	土井 松幸	看護師長	飯田 芳子
18	名古屋大学	部長	武澤 純	副部長	高橋 英夫
19	三重大学	部長	丸山 一男		
20	滋賀医科大学	部長	江口 豊	助教	五月女 隆男
21	京都大学	副部長	瀬川 一		
22	大阪大学	副部長	藤野 裕士	看護師長	河野 総江

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

23	神戸大学	助 教	三住 拓誉		
24	鳥取大学	部 長	斎藤 憲輝		
25	島根大学	部 長	齊藤 洋司	副 部 長	野村 岳志
26	岡山大学	副 部 長	片山 浩		
27	広島大学	准 教 授	廣橋 伸之		
28	山口大学	副 部 長	若松 弘也		
29	徳島大学	部 長	西村 匡司		
30	香川大学	副 部 長	田家 論		
31	愛媛大学	部 長	土手 健太郎		
32	高知大学	副 部 長	山下 幸一		
33	九州大学	副 部 長	谷山 卓郎	看護師長	井ノ口 美和
34	佐賀大学	部 長	中島 幹夫	副 部 長	三溝 慎次
35	長崎大学	副 部 長	槇田 徹次		
36	熊本大学	部 長	木下 順弘		
37	大分大学	助 教	松本 重清		
38	宮崎大学	副 部 長	谷口 正彦		
39	鹿児島大学	部 長	上村 裕一	副 部 長	垣花 泰之
		看護師長	市村 カツ子		
40	琉球大学	部 長	須加原 一博	助 教	瀧上 竜也

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

敬称略

【議長選出】

金沢大学医事課課長（西川） 恒例によりまして議長は例年当番大学の集中治療部長が務めておりますが、これに倣ってよろしいでしょうか。（拍手）ありがとうございます。それでは集中治療部長の稲葉先生、よろしくお願いいたします。

金沢大学（稲葉） 金沢大学病院の集中治療部長の稲葉でございます。よろしくお願いいたします。先ほど松田先生のご講演の中でお話しがあったのですが、名古屋大学の武沢先生が先週お亡くなりになりました。もちろん集中治療部長をなさっていたわけなのですが、こういう試みは当協議会では初めてかなと思いますが、もし皆さんご同意いただければ、ここで黙祷を武沢先生に対して黙祷を捧げたいと思います。皆さんご起立をお願いいたします。黙祷。

金沢大学（稲葉） ありがとうございました。それでは議事に移らせていただきます。

【協議事項1：集中治療医学会主導の機能評価調査について（名古屋大学）】

金沢大学（稲葉） 二つ頂いておるのですが、最初の議題は「集中治療医学会主導の機能評価調査について」ということで、先ほどの松田先生のほうからもご提案あったのですが、名古屋大学の先生の方からご説明願えますでしょうか。

名古屋大学（高橋） 名古屋大学の高橋です。この議題はだいぶ前に出た話で、今後やらなければならない、やるのなら集中治療医学会のほうでということですが、この全国集中治療協議会としても継続審議をしていただきたい。実は、経済的な面もあるのですが、先ほどの御講演でもありましたが、本来は患者の質にあるのですが、治療のクオリティを上げることも本来は基本的なことで重要であります。何かをやらなければならないということです。実は昨年の集中治療部協議会でも、そういったことをやっていかなければならないと申し上げましたが、あわせて検討していただきたい。

金沢大学（稲葉） ありがとうございました。議長の情報としてお伺いしたいのですが、松田先生でも結構なのですが、今までやってこられた調査というのは日本のICUの何割ぐらいにあたるのか。文部科学省のデータの中で、病院の病床数とかのデータがあったのですが、集中治療として実際何割ぐらいがデータの中に入っているのか、もしご存知でしたら……。

徳島大学（西村） 徳島大学の西村と申します。ICU学会として非常に大きな問題があります。それは今先生がおっしゃったようなことが全く分からないということ、ICU学会で施設認定されている施設とDPCに絡んでいるところと完全に一致していません。まだ分からないことは、加算を算定している病院とも全く関連がない。これに関しては、都道府県が認定していますから、ICU学会としてはデータを持っていません。施設としては200

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

弱学会が認定しているのですけれども、それがどれだけ今回の調査に関与したかということが分からない。もう一つ、この全国国立大学病院の集中治療協議会というところで話をさせていただきますと、国立大学病院のICUとは、日本のICUの規範となるようなICUであるべきです。規範となるべき姿はどうであるかということを、我々は求めていくべきであろうと思います。しかし、基礎データがない。だから基礎データを集めないといけないということでしたが、予算が問題でした。そこでICU学会の機能評価委員会が、協力してやったのですけれども、残念なことに、2006年度の調査に参加した国立大学病院は6病院だけです。最も非協力的であったということです。分かっているのは、そういうところ

金沢大学（稲葉） ありがとうございます。そうすると日本の全体のICUをまあ例えば分野別とか系列別に比較するとか、そういうこともほとんどできていないという理解でよろしいのでしょうか。

徳島大学（西村） 学会としてはデータは持ってないです。今回のデータがたぶん全国的にとられた、日本で初めてのデータになると思います。松田先生がおっしゃっていたように、ICU学会としては、そういったことを続けて、2006年、2007年ときましたので、2008年もやらないといけない。是非、2008年度に関しては、できればICU学会主導でやりたいと思っていますので、国立大学病院のICUにはデータ収集に協力をお願いしたいと思っています。

金沢大学（稲葉） 6病院にうちも入っていますが、ひょっとしてこういう話が全く届かなかったという、事務の方で止まっている病院もあるかと思うのですが。

徳島大学（西村） その件も非常に問題で、事務で止まっている病院が多かったようです。我々現場の医者のところには連絡なく終わってしまったという病院がいくつかありました。次回は現場にできるだけ伝えたいと思います。それとそういう問題は2006年度調査時に分かっていたので、2007年度に関してはできるだけ現場の先生に直接手紙を出させていただいて協力をお願いしました。2007年度はもう少し増えましたが十何施設だったと思います。

金沢大学（稲葉） 学会主導となると事務の方が協力していただける場所というのは逆に少なくなるのではないかと……。ですから両方がいいのかなという気もするのですが、ICU学会の文書を事務官に持っていても、たぶん一切協力してくれなくなって、逆に言えば、制度的なものがあれば自分たちでやってもいいのかもしれませんが、この件に関して他にご意見はございますでしょうか。どうぞ。もしよろしければご所属とお名前をまず。

浜松医科大学（土井） 浜松医科大学の土井です。私たちも実は2006年度の中には、事務から連絡がおりてこず、参加できなかった。去年は事務から連絡が来て参加が可能となりました。それで学会の評価委員会が全国のICUを網羅して評価ができればいいのでしょうけれども、2006年のデータをみて見ますと、かなりバラつきが多い、いろいろなシステムというか、いろいろなレベルのICU、いろいろな形態のICUが日本に存在しています。

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

学会主体でデータをとるにしても、最低限、国立大学の集中治療部というのは、もちろん施設間のいろいろな差はあるのでしょうけれども、しかしながら日本全体のばらつきに比べれば、かなりまとまった質のある施設であろうと思われます。今後、積極的に最低限国立大学からは全施設がこの調査に参加して、そしてサブグループとして、現在の国立大学集中治療部としてはどうあるべきかという方向性を出すためには、データを出す努力をしなければならぬと思っていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

金沢大学（稲葉） ありがとうございます。逆に言いますと我々のICU、国立大学病院のICUと最近循環器リハビリテーション関係でにわかに増加したICUとはどこが違うのかということも、実際聞きたいと私は申し上げてきました。DPCの参加施設は、強制的にこういう調査に参加するのは、そういうシステム作ることが良いのではないかと申し上げました。それもちよつと依然難しいということでしょうか。他にご意見、ございますでしょうか。

東北大学（星） 東北大学の星です。うちのところは、2006年は事務方と協議してキャンセルしました。去年は参加しようと思いましたが、当院の重症病棟部は30床あり、10月の入室者数は約200名になり、データの打ち込みが問題になりました。始め事務にお願いして打ち込みの人間を雇ってもらう予定でしたが、時間がなくなり結局私自身が打ち込みを行いました。この点が大きな負担となりました。西村先生にお願いしたいのですが、打ち込む人間の時給などを出してもらうように、学会からだとなかなか難しいと思うので、この協議会から病院にお願いしてもらえないでしょうか。

金沢大学（稲葉） 文部科学省からの文章という形ではなかった・・・、事務のほうへ調査依頼という文章がでるのではないのか・・・。

徳島大学（西村） 2006年、2007年は、松田班での対応になっています。松田班のいくつかある研究の中の、ICU研究ということでお願いしました。2007年度に関しては、全国の国立大学病院の数カ所で説明会もさせていただきました。2006年度の反省を踏まえて、2007年度には協力がいただける様努力しています。調査は大変であることはよく分かりますが、事務方に協力を強制できるかというのは非常に難しいと思います。我々は機能評価委員会、学会の一団体としてやっていますので、それを病院事務方のほうでやっていただけるかどうか、難しいと思っています。先ほど土井先生もおっしゃったように、我々の将来を決めるようなデータだと思います。本当に大変だということは重々分るのですが、やはり集めないと進歩がありません。何度も言いますが、国立大学病院というのは、土井先生もおっしゃられたように、日本のICUの見本となるようなICUにならないといけないと思います。そのためにはどういう施設が必要なのかというデータを、提示しないといけない。それのとっかかりを松田先生に作っていただきましたので、ICUに携わっているものの使命としてぜひ協力してもらいたいと思っています。

浜松医科大学（土井） 浜松医科大学の土井です。東北大学の星先生のおっしゃったことはもっともです。やはり私たち日ごろの臨床業務でかなり疲弊していることが多いと思

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

ます。今回2007年は病院長会議に話が通っていて、病院長会議がサポートするという、それを今回は事務が聞いていて、私達の大学の事務官もかなり協力的にサポートがありました。次回の調査にあたっても事務方の協力が必要ですが、ずっと病院長会議に協力を願う要請はできないでしょうから、例えばそのために本協議会の会長なり、世話人が協議会としての活動として、文書を病院長あてに「要望書」として出して、つまり本体は日本集中治療学会の調査であって、それに対して協議会が、それに乗かってサポートするのだと。それで調査をよろしく願いますという文書を1通出していただきますと、おそらく事務としてはかなり協力しやすいのかなという部分がありますので、どういう文面になるか、この学会独自の調査という形の形態を使わせてもらって調査するという格好が良いと思います。それはまた西村先生とお話しをして、何らかのアクションをすることで。

金沢大学（稲葉） そうですね、学会の委員会としてこういう事業があり、協力して自分たちの病院機能を評価すべきだというような病院長会議への「要望書」の形で、例えば今回ここでの決議ということで提出できると思いますけれども。

浜松医科大学（土井） そういうのがあると事務方の対応が違ってくる。

金沢大学（稲葉） 他にご意見として。

弘前大学（坪） 弘前大学の坪と申します。うちは、全部提出させていただいていますがやはり大変です。1カ月分しかやってませんが、医者も疲弊していますし、その上にあれを3人でやるんですけれど、あれを経時的にやるとなると、やはり本当に疲弊に疲弊してしまいます。外国はデータ集めに秘書官がいて全部やりますよね。何か別のデータ、ひとつまとめた段階でデータが飛ぶような別のシステムを構築していただいた方が、あらかじめあれをもう一度、西村先生、まともにやるとなるとですね、ほんとうに大変なんです。

金沢大学（稲葉） ちなみに先生のところ電子化されているというか、もちろん・・・。

弘前大学（坪） 電子化はされておりますが、ICUのデータが飛ぶようにはなっていない。まとめて、医者が毎日やるというのは不可能だと思います。

金沢大学（稲葉） 他に困難であったということで、こういう点を考えていただきたいという施設がございましたら。

産業医大（松田） 産業医大の松田ですけれども、傷病名に追加業務で入るということは問題なのだろうと思います。DPCの様式1もそうなんですけど、民間病院ではどのようにしているかと申しますと、民間は一斉サマリー、所謂様式1を用いています。標準様式を作るという作業が必要なんですけど、ある程度の標準様式は作れると思うんです。もう一つは、実は、ほとんどのデータは入院カルテやレセコン情報を見れば分かります。今回もレセコンからかなり取れる状況なのですから。連動しないのが問題なのだと思います。採れない部分を先生方が埋める作業が大変なのだと思いますけど、工夫すれば現場の先生方の負担を少なくとも減らすことができます。学会の方でも標準様式を考えていただく必要があるかと思っています。

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

金沢大学（稲葉） もう1回確認なのですけども、レセコンから採れる量というのは、委員会に来て、そこから各委員が確認できるという理解で宜しいでしょうか。

産業医大（松田） 学会によってどのようになっているかと申しますと、たとえば、泌尿器科学会などではDPCのデータをもう一回集め直すという作業をやるんですけど、厚労省に出したものを逆にコピーして出してもらって、学会の評価委員会のメンバーが評価するという。循環器学会もそういう形で行っております。

金沢大学（稲葉） 今までの調査と重複していたようなこともあったという……。

産業医大（松田） 重複ではなくて、出さなければいけないデータがありますね。あれが戻ってきますので、それをもう一回学会で収集するという作業をやれば良いかと……。

金沢大学（稲葉） 他にご意見ございますか。何か問題点……。継続してより精度の高いものにして調査をやっていかないと働く我々の立場もあると思いますので、もしよろしければ西村先生と学会を紹介しまして、今回の協議会の要望書という形で、病院長会議のほうに提出するようにさせていただきますがそれでよろしいでしょうか。（拍手）ありがとうございました。

【協議事項2：大学病院におけるICUとHCUの管理について（鳥取大学）】

金沢大学（稲葉） それでは次の議題に移らせていただきますが、この議題に関しては過去の本協議会で何回か議論されたのですが、「大学病院におけるICUとHCUの管理について」という議題でございます。鳥取大学の先生よろしくお願いいたします。

鳥取大学（斎藤） 鳥取大学の斎藤です。今、議長のほうからお話がありましたように、今まで何回かHCU問題というのは、この会で取り上げていただきまして、何年か前にHCUに関して、どこでも話をする場所がない。この場で声をあげ続けられたらいいのではないですかという応援をいただいて、それでまあこのHCUに関する問題というのを毎年我々が提出しているわけですから協議ではないですけども、先ほど松田先生のICUの運営形態が多様でなかなかニーズに対応することになっていないということなのですけども、HCUに関してはまだまだそこまでもいっておりませんで、出来上がってきた経緯は、ICUのステップダウンと言いますか、後方ベッドという形でできているところであるとか、救急の救命センターがいっぱいになった時の受け皿ですとか、あるいはサージカルICUの重症度の軽度のやつ、あるいは一般病棟へICUの受け渡すときの中間ベッド的な受入、その対象というのが多彩で、かつICUよりももついろいろな問題を含んでいる。運用形態にしてもいくつかはできているのですけれども、どういう形態かわからない。そういう状況ですので、実はHCUというのは、困っているところがいっぱいあるのですよという形で、声を上げさせてもらっている。いろいろと問題があって困っていますというところで、受けとっていただければ宜しいかと思います。

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

金沢大学（稲葉） 先生、もし、この全国国立大学集中治療協議会で調査をした覚えがあるのですが、再調査の指針というのはいり得ますでしょうか。

鳥取大学（斎藤） そうですね、あの時はまだ加算前・・・。

金沢大学（稲葉） 加算が付きそうだという時にやられましたね。だから加算が実際取られているというのはほとんどないと思うのですが、そのあと HUC として少しかなり広がったり、形態として、管理形態とかできた病院もあるのかもしれませんが・・・。

鳥取大学（斎藤） HCU として運営していくのがいいのか、実は ICU の数を増やしたほうがいいのかではないか。経営、その辺がいろいろ他の要因が絡んできますので、だいたい HCU があちこちにできた時点でもう 1 回調査をする必要があるのだらうと思うのですが、それが今の時期なのかどうかかわからないのですけれども。

金沢大学（稲葉） 保健改正があるという話、4 月以降あるのですが、そのあたりに HCU の位置付けとか、大きな変更があるとか、そういう情報をお持ちの先生はいらっしゃいますでしょうか。おそらく平均在院日数の基準が変わらないといつまでも変わらないと思うのですが。この件に関して何か関連する事項でも結構なのですが、ご意見ありましたらお願いします。

群馬大学（国元） 当院 4 階は重症病棟になっています。この南部分に循環器内科が、北部分に呼吸循環器外科病棟 18 床（北病棟）と HCU16 床があり、集中治療部は HCU にドアーを隔てて隣接しています。HCU は、2002 年 2 月に ICU と歩調を合わせて運営するというコンセプトで設置され、現在毎年約 600 名の患者が入退室しています。北病棟と HCU は一つの看護単位となっており、計 34 床を 31 人の看護師さんで看ています。当院 ICU は 7 床とベッド数が少ないため、緊急入室患者用に ICU ベッドを開けなくてはならない場合は、無理を言って HCU の受け入れをお願いしている状況です。ICU のベッドコントロールが困難な時は、患者さんの受け皿ができて ICU としては運営しやすくなったのですが、HCU にしてみますと、本来「ICU に行くほど重症でないが、病棟に帰るほど軽症でない患者のブリッジ的な治療をする」というコンセプトで設置された施設が、実際は ICU から押し出されて来た患者ですとか、治療回復困難患者さんの治療施設になってしまいました。さらに HCU には、人工呼吸が必要な患者や、少なからぬカテコールアミン投与が必要な患者など、多様な患者さんが入室してくるため、看護師さんが疲弊してしまうほど混乱しています。今後 HCU の状況をどのように打開するか事務方とも相談してきましたが、HCU 加算が取得できない状況では、いっそ ICU 化してしまったほうがいいのかという意見になっています。昨年東京大学を見学させていただき、今年は東北大学を見学させていただきましたが、両大学とも管理加算の取れない HCU を ICU 化することによって、重症患者管理施設運営を向上させたようです。在院日数 17 日以下の急性期病院でなければ HCU 管理加算が取れませんが、「在院日数 17 日以下」をクリアしている旧国立大学病院は一つもなかったと思います。

金沢大学（稲葉） 矢作先生、何か訂正とかご指摘がございましたら。東大はどのよう

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

にやられているのでしょうか。

東京大学（矢作） 東大の矢作です。すいません、去年とちょっと重複するところも出てきてしまうのですが、もう一度簡単にご説明させていただきますと、そもそも当院の場合、ハイケアユニットというのは、別に我々が作ろうとしたというよりは、看護の要因が強くて、従来いわゆる各病棟毎にリカバリーを持っていた古い病棟を、平成13年に新病棟に統合するときに、看護部のほうで傾斜看護という考え方で、いわゆる一般病棟に中間病棟のリカバリーICUと、それから一般病床の間のハイケアを作るということでしたというのが実情なのですが、そして1,210床の病床のうち、外科系、ICUからもその当時大人が14、小人が新生児とNICU合わせて15というように出てきて、そして外科系のハイケアが36床、内科系のハイケアが15床ということで、始まりました。

ところがですね、両ハイケアユニットが動き出して、いくつかの問題点がはつきりしてきました。これも医者の問題というよりは、やはりそこで働く看護師の問題が非常に大きくて、一言でいうと先ほど国元先生がおっしゃって、まさにその通りで、ハイケアには入口が四つありました。つまり救急外来、手術室、ICU、そして一般病床と。その非常に複雑な業態、さらに平均在院日数が、日数が3日弱という中で、コマネズミのように、患者さんもコマネズミですが、働く人はもっとコマネズミですね、一言でいうと、やられるかといって、離職率が非常に高かったのですね、ハイケアは。

ですから、そこで看護婦と話をしまして、看護婦としてはやはり傾斜看護というのは一つの理念としては美しかったのですが、例えば外科系の病棟で働く看護婦さんの働く動機としては、やはり患者さんが入られて、重症な手術そして退院するまで一通り見たかったという人が多かったらしいのですが、それが使用前、使用后みたいになってしまって、間が抜けて一般病棟はやる気がない、そしてハイケアはコマネズミ状態。これで離職率がバンと増えたということで、これではしょうがないということで、医療上の問題というよりは、やはりその看護のほうを任さない、結局は医療がもたないということで、ハイケアを全廃しまして、内科系15床、外科系36をやめてしまって、そして第2ICUを24床で作り替えをしました。そしてそれによってハイケアのない内科系ハイケア1,000外科系ハイケア3,600入っていたのを合わせて4,600入っていた患者を第2ICUにして、今は2,000つまり半分以下、あとは一般病床を底上げした配置になりましたから余計そういう意味では、頑張ってもらっているところなのですが、そしてその傾斜看護を廃止したというのが現状です。

金沢大学（稲葉） 総数としては看護の数は増えたのですか。それとも減ったのですか。看護師さんの数は。

東京大学（矢作） 当然、2:1になりますので、看護師は外科系51だったのが、今ベッド数は36から24に減っておりますけれども、今66、7でやっています。

金沢大学（稲葉） もう一つ確認なのですが、それまでのHCUは入退室を規定するはじめと言いますか、・・・。

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

東京大学（矢作） 集中治療部ということでももちろん減らしていただいている。

金沢大学（稲葉） しょっちゅう入れ替え、入れ替えということで……。他に確か前にも、HCUをICUにしたという施設があったと思うのですが……。

神戸大学（三住） 神戸大学の三住です。当院も6年前にHCUとICUを立ち上げました。ところが先ほどの先生の御発言どおり、ICUにいた患者がHCUの方にどんどん流れていきますので、言葉は悪いのですが「掃き溜め」状態になりまして、看護師さんの離職率が非常に高くなりました。そこで3年前にHCUをICU化いたしました。それで、そこで働く看護師さんの数は増やさなかったものですからもとのHCUだったところのベッド数を減らしたのです。そうしてICUと一般病棟をつなぐ看護レベルのところがなくなってしまいまして、結局一般病棟にもう1回重症個室を作り直しました。で、そのHCUがICUになった部分の収益が病院側にとってはかなりの収益になったらしいのです。そこで今度の4月からHCUからICUになったときにできた空きベッドを「フルオープンしろ」と病院側から命令が出まして、現在24床が今度の4月から36床で稼働させるのですが、結局病院からの命令で我々が広げる訳ではないのですから、集中治療部としてのICUが我々の手から離れてしまって、要するにICUをコントロールすることができなくなってしまいました。結局私の上司などは退職してしまって、私のような若いものがこのような会議に出てくるようになってしまいました。だから、もし同じようなことが他大学におこりますと同じような問題が起こってくるのではないかと思います。

金沢大学（稲葉） 先生がおっしゃるのは、医療崩壊の引き金であると。

神戸大学（三住） そうです。そういうことも1つの問題になると思っています。

金沢大学（稲葉） あと、確認したいのですが、神戸大学は救急部と集中治療部が別になって、救急部の先生方が確かHCUを作られているという話を聞いたのですが……。その住み分けはどう……。まだ、HCUはあるのですか。

神戸大学（三住） いや、HCUはもともと救急の患者は全く入っておりません。救急部は救急部として6床持っていました。

金沢大学（稲葉） ベッドは普通の一般病棟を使うということで……。

神戸大学（三住） ICUの中にE(emergency)-ICUとして6床持っていました。

金沢大学（稲葉） ああ、ICUの中の……。

神戸大学（三住） そうです。それで今まで我々が持っていたS(surgical)-ICUとHCUがICU化したM(medical)-ICU、それと救急部がもつE-ICUというのがあったのですけれども、それが今度からSとMは1つのユニットにしてしまってどんな対象でも入れる、病院としては何でもベッドを埋めるという方針です。

金沢大学（稲葉） 救急部を介した患者もダイレクトにそこに入るという理解で。

神戸大学（三住） そうです。救急部のベッドだけでは足りず、そこが空いていれば受け入れるということです。

鳥取大学（斎藤） 実は、鳥取大学もHCUのICU化を進めていって、この4月から22

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

床のHCUの12床をICUにするんです。ただですね、やはりHCUの理念というのは非常にいいものがあって、一般病棟にいきなりICUから降ろすのは問題だろうということで、ICUの後方ベッドというのが理想なんです。実際にはどこの大学も今聞いていますとICUがどんどん増えている。そうするとそのコントロールとか、逆に問題となってくるわけです。それをどういうふうによく管理していくかという、おそらく今度はICUの問題として返ってくるのではないだろうかということが、来年、再来年あたり大きくなったICUをどのように運営するかということが出てくるのではないかと思うのですけれども。

金沢大学（稲葉） 岡山大学の片山先生いかがでしょうか。先生のところは救急部、確か救急部でHCUを持たれていて、あとは全部ICU、その後は全てICU化されたのでしょうか。

岡山大学（片山） 岡山大学の片山です。救急部、氏家先生のところがHCUという名前で立ち上げたのですけれども、実際は先ほど来お話しが出ていますように、私達の病院ではいわゆる17日以内の急性期ではなくて、HCU加算がとれなかったのですね、そうなりますと看護がかなり重点配置しておりましたので、病院としてはそれはもう勿体ないということで、15床ありますHCUの中を、8床分をICU化いたしました。残りの7床はですから一般病床ということなのです。8床のICUと7床の一般病床がある一つの病棟がそこでできあがっています。ですから私のところの病院では、名前はHCUが残っていますけれども、現実にはその中の半分がICU化したHCUという、名前だけが残っているということで、余談ですけれども、この4月からは新病棟が半分できて完成なのですけれども、先ほど来お話しも出ていますけれども、ICU加算が取れるということで、病院の増収に繋がるというような執行部の意見がありますし、突如一般病床だったところが18床分のICU、CCUの増床になります。ですから私たちのところもそこにもまた夜勤、日勤を出さなければいけませんので、今までと同じような、クローズド、まあほとんどクローズドに近い、私たち主導のICUを継続しようとするところも努力しておるのですけれども、結局、なかなか人間は増えませんし、というのが現実です。

金沢大学（稲葉） ナースの数は少し増えたということですね、当然。

岡山大学（片山） 元々の先ほどのHCUをICUに変化させる時は、ほとんど増やさない状態で、その8床分のICU枠の中だけの人員配置を元々していたのです。ですからかなり手厚い看護ができるだけの看護配置はできていた状態です。

金沢大学（稲葉） それともう一つ気になるのは、7対1を先生のところは採られた上で、ICUを導入したということですか。

岡山大学（片山） そうですね。

金沢大学（稲葉） ちょっとお伺いしたいのですが、7対1にまだなっていないという病院はありますか。結構・・・、半分ぐらいですかね。7対1をやられていない。金沢大学のことをちょっとお話ししますが、金沢大学は7対1を優先しようという形で動員を図って、何とか今7対1が採れたり、採れなかったりなのかもしれませんけれども・・・、

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

4月から採れる・・・、まだ採れていない・・・、という状態です。地方大学では看護師さんの確保が非常に難しく、ICU 化しようにも困難だと思うのですが、まあ一部では東京大学がみんな看護師さんを盗んでしまって、矢作先生が悪いんだという意見も相当あったようですけれども。どうでしょうか、この辺に関してかつてアンケートを取ったと思うのですけれども、何らかのちょっと我々の実態、それから看護師7対1とかこういうことも含めて、看護師さんも実は今日の協議会に何人か出席していますので、そういう簡単な調査をして、次の協議会で何らかの形で提示していただくということではいかがでしょうか。かつては山下先生がやられた、大阪大学がやられたのですか。どちらがやられたんですか。中心になられたのはどなたがやられたのですか。一応この協議会で調査をされましたね。ええ、HCU の調査です・・・。

徳島大学（西村） あれは鳥取大学と岡山大学ですか。

金沢大学（稲葉） ああ、そうですか。ですから今回は HCU の調査というか、ICU がどのくらい増えていて、それから HCU と ICU がどのくらいずつあるのか。そしてそこに看護婦をどのくらい、あれしているか。7対1、どれくらいがやっているのかということも含めて、問題点という形で何か、提案してはどうかと思うのですけれどもいかがでしょうか。必要なければ・・・。いかがでしょうか。どなたか素案というか、やっていただけるとありがたいと思うのですが。機能評価とは余り関係がないですが・・・。

徳島大学（西村） 実際機能評価をいろいろ伺っているだけでも結構大変です。ICU だけでも、実態はわかっていない。とにかく ICU の実態を捉えてということをしているのですけれども。

金沢大学（稲葉） ICU 化してベッド数を増やしているところがあるということですね。

徳島大学（西村） そうですね。ある程度だからそういったところで協力いただいたら、どれくらいあるかというのはわかるかも・・・。我々の調査にどの程度の施設が参加するかわかりませんが、それからでしたらわかるかもしれない。

金沢大学（稲葉） あとちょっと気になるのですが、救命センターを持たれるところは、救命センター自体の ICU を持たれていて、今回両方のデータを集められているというのは・・・。

徳島大学（西村） これも非常に難しいです。基本的には管理料をとっているところという形で、松田班の場合は集められていると思うのです。ICU 管理料をとっているところ。

金沢大学（稲葉） それから救命センターとして、HCU を作ると HCU 加算が取れますし、そこまで広げるのかということも、この場で協議できれば・・・。

徳島大学（西村） 先生がおっしゃっているのは、我々の学会としての委員会がどうするかということでお聞きされているのだとしたら・・・。

金沢大学（稲葉） そうです。

徳島大学（西村） 我々は ICU だけを対象にしたいと思っています。

金沢大学（稲葉） それは救命センターも含めてということですね。

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

徳島大学（西村） いいえ、ICUということです。

金沢大学（稲葉） 斉藤先生というご意見がありますが、斉藤先生いかがでしょうか。もちろんお手伝いというとなんか、他の方に入っていただければいいと思うのですが。

鳥取大学（斎藤） 前回やりました際に、単純にですね、そういう機能評価ほど難しいことはできませんけれども。数だけでしたら、・・・

金沢大学（稲葉） まあ・・・。

鳥取大学（斎藤） そういうものを前回は100%の回答をいただいて、今回も協力してやるぞということでしたら、そのアンケートの素案は私なりに考えたいと思いますけれども、作らせていただいて、来年までの間にできたら9月頃までにでも・・・。

金沢大学（稲葉） その時に7対1とかそういう看護師さんの数ですね、病院全体として抱えている看護師さんの何割ぐらい、集中しているかとか・・・。

鳥取大学（斎藤） 一応原案を作らせていただいて、他の方たちと一緒に先生にも見ていただいてという格好で、協力していただくということで、そういう形でしたら原案を作らせていただきます。

金沢大学（稲葉） よろしく願いいたします。それでよろしいでしょうか。（拍手）おそらく事務方も協力していただくという形で、次の協議会にみなさんにお示しすることによってよろしいでしょうか。ありがとうございます。

【その他、議長提案議題：本協議会の参加校拡大について（金沢大学）】

金沢大学（稲葉） 以上が提出していただいた協議事項でございますが、その他として、議長のほうからいくつかご提案というか、ご論議いただきたいと思うのですが、国立大学の救急部の協議会がございますが、実は今年度岐阜大学で公立大学を加えるということで、公立大学の先生にも入っていただいて、この協議会を少し拡大するような形でやった経緯があるのですが、そのことに関していかがでしょうか。その背景は法人化したという、それぞれの大学が法人として活動している。公的な病院として国立大学も変わらないのではないかなというような、ただ文部科学省からお話しをいただく立場としては支障がないかというのはあるかと思うのですが、いかがでしょうか。どうしてそうなったのか、私の説明が不足しているといけないと思いますので。

徳島大学（西村） 昨年度は救急医学会の部長会議で、私立大学は私立大学でやるけれども、公立大学は少数でどこにも属さないのでおかしい。それで国公立で一緒にやったらどうかというような発言がありました。今年に関してはオブザーバーみたいな形で参加されました。それで今年の協議会で正式にということで、あと私立・・・。

金沢大学（稲葉） あのととき私立大学も入って・・・。

徳島大学（西村） たぶん私立、自治医大と産業医大は私立にというのとちょっと違う

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

ので、公立ではないけれども、一緒にやればどうでしょうかということだったように記憶しています。

金沢大学（稲葉） どなたか・・・。

徳島大学（西村） 防衛医大もですか・・・。

金沢大学（稲葉） 防衛大学が入ると。

徳島大学（西村） ただ公立大学プラス私立というものの公的な性格をもったところも、一緒にやったらどうかということだったと思います。

金沢大学（稲葉） いかがでしょうか。救急部協議会と比較してはいけないかと思うのですが、救急部協議会では連絡協議会という形で、私大で集まるのですが、集中治療ではそういうのがほとんどない。こういう例えば次期当番校をどうするかとか、そういう中間報告という形がやられていないのが現状ですので、いきなりご提案することが出来なかったのですが。それから伺いしますが、公立大学の先生方が入る時はその場で合流するような形で決まったということでしょうか。

徳島大学（西村） 詳しいことは、覚えていません。たぶん、次回、声をかけて見ましょうと言うことだったと思います。それで実際に、オブザーバーとして参加していただいたような気がします。

金沢大学（稲葉） おそらく文部科学省の方が出席して説明するような会は公立大学にはないんでしょうから、もしよろしければ、次回オブザーバーとして声をかけていただくというような形で、次期当番校の先生にお願いしていただいて、そして次回オブザーバーという形になるのかもしれませんが、次回の協議会でそのことに関して意思決定をするというような形にさせていただければと思うのですが、いかがでございましょうか。（拍手）それではそのようにさせていただきたいと思います。

【その他：看護部会の設置について】

金沢大学（稲葉） 他にこの際でございますので、こういう問題について論じてほしいと、何かご意見がございましたら伺いしたいと思うのですが。何かございましょうか。

浜松医科大学（土井） 浜松医科大学の土井です。確認ですがけれども、去年の東大の本来の時に、今年度から原則的に看護師長も同席で話をしましょうというようなことで話が合ったと思いますけれども、それは今後の方針としてはどのように理解すればよろしいでしょうか。

金沢大学（稲葉） 今回この準備をしていただくにあたって、看護師さんの会を設けるということで、実は少し早めに看護師さんに集まっていたいて、論じていただいたのですが、今回参加されたのは9大学が参加されて、お昼のランチを食べながら会議といいですか、話し合っていました。来年から看護師さんも来てもらうということになると、

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

予算とかいろいろな問題が生じるのでしょうか。たぶん旅費とか、いろいろ問題がありますので、もしこの協議会自体に参加する形でやるのか、それともその前に救急部協議会ですと、午前中ぐらいに看護師さんだけの会を設けて、そして午後一緒に加わっていただいてまた協議するという形であったと思うのですが、そういう救急部の協議会に準じた形にするのか、その点を明らかにしていただけると、案内が出しやすいと思うのですが、いかがでしょうか。それでこれもちよっと関連して、今日9大学の看護の代表の方々がお集まりいただいている、いろいろお話をされたとは思いますが、その報告を私共の看護師長のほうからさせていただきたいと思います。

金沢大学（田中） 田中です。よろしくお願いいたします。それでは、看護師長交歓会の報告をいたします。交歓会は、12時から1時間行いました。内容は、応援体制、勤務体制、新人教育、一般病棟との連携についてでした。応援体制では、透析室や血管造影室、採血室、一般病棟等に出ている所と全く出ていない所等様々でした。これは、施設内でICUが救急部と併設または救命救急センターである場合や独立している場合、専従業務であるとして県から規制されている場合等によるものでした。勤務体制では、3交替から2交替に変更している施設がいくつかありました。新人教育では、新人が通年より多く配置され、現場での教育体制に苦慮しているという問題です。新人が3～10人と通年の2～3倍の人数になっている。これは、昨年度から一般病棟に導入された7対1看護によって、新人が多数採用され、ICUにもその影響が及んでいる。新人が実働するには、最低半年から1年以上必要であり、インシデント発生リスクの高いICUならではの教育指導体制が必要である等の課題が出されました。一般病棟との連携では、転入・転出時の連携方法について話し合いました。十分な意見交換はできず、現状の課題から各施設で取り組んでいる工夫等について情報交換した次第です。以上です。

金沢大学（稲葉） ありがとうございます。看護師さんのお話の中でも看護業務とかの負担が増えている、それから先ほど神戸大学の先生がおっしゃったように、離職とか、そういう事態も起こっているということで、まあできましたら来年度は救急部協議会と同じ形で、協議会の時間で看護師長に出席いただいて、ある時間でそういう看護側から見た集中治療、ICUの問題点という形で論じていただいて、そして一緒に看護師さんと論じる形にしたらよろしいのではないかと思います。よろしいでしょうか。よろしいでしょう。（拍手）それではそのような形で、次回の協議会は開いていただければと思います。他に何かございますでしょうか。

【その他：次期当番校の選出について】

金沢大学（稲葉） それではちょっと時間は早いのですが、次期当番大学選出ということで、恒例ですと、現在の議長を担当している大学が次を決めてきたというようなことで

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

ございまして、今までと違い、比較的来年度から大変になるかと思いますが、大変なことをやったださる先生を恐る恐る探しましたところ、快く熊本大学の木下先生がお引受くださいましたので、木下先生のほうからご挨拶をいただければありがたいと思います。

熊本大学（木下） 熊本大学の木下でございます。稲葉先生は快くとおっしゃいましたけれども、私は渋々今からでも変わってくださる先生がいらっしゃったらお願いしたいのですけれども、他にいらっしゃらないようで・・・。

金沢大学（稲葉） 大変だと思います。実は私も矢作先生からいただいて、事務方も協力していただけたらと思っていたのですが、「そんなことはやったこともないし、前例からいうと医者がやることになっているので、事務は一切協力しない」と、今は一生懸命協力していただけていますが、今回はこれまでと全然違う、そういう事態でかなり大変だと思いますけれども、是非皆さんも木下先生に声援の拍手を送って戴いて・・・。（拍手）

熊本大学（木下） そうでしたらいずれやらなければいけないということと、私をもってこの会を終了するというのも、あまりにも寂しいので、お引き受けいたします。それで私からのお願いというか、皆さんへのご相談ですが、もし次々回も存在しうるなら、私が指名させて戴いた方がこのような形で、お引き受けいただきたいということが一点と、それから開催時期に関しましてですが、私自身は今回3月、前回は3月でやっているようなのですが、次期開催日に関して先生方のご都合等をできるだけ考慮して設定したいと思います。会場自体は熊本大学構内で熊本市内ですが、来年の日程として一つ1月の19日から23日の週、これはおそらくセンター試験の翌週ぐらいになるだろうと思うのですが、その辺り。救急部協議会が先ほど丸藤先生に聴きましたところ2月10日ということなので、私自身もそうですし、兼ねていらっしゃる先生がかなりいらっしゃいますので、かなりそれと近い日程でやるのもあれだと思いますので、それから集中治療医学会が2月26日から28日まで大阪でございますので、その時期はできないということですので、もしやるとすればあと3月のどちらか、最近ではSCCMという国際学会が2月上旬か1月下旬にあるのでしょうか、詳しい方いらっしゃるのであれば教えていただきたいのですが・・・。その時期、国際学会に参加するので、この時期に本会を開催不都合だという方がいらっしゃいますでしょうか。いらっしゃらない。

金沢大学（稲葉） 3月のこの時期というのは入試と重ならない、比較的あいている時期では・・・。東大からこの時期になったのですが事務系統はこの時期・・・

熊本大学（木下） 前期試験と後期試験の間で発表作業と事務方が大変であろうと・・・。すごく大変なので、時期的には余りよくないのではないかと、事務の方にとって。

金沢大学（稲葉） これは先生の方で一番いい時期にスタッフの都合もあると思いますので、熊本大学の方で決めていただければと思います。

熊本大学（木下） では第一の案としては、来年の1月の22、23日くらいですけど、木曜日から金曜日、まあ金曜日のほうが皆さん翌日帰られること、天候などのことを考えるとよろしいかと思いますが、23日のあたり、特にご都合の悪い先生がいらっしゃらな

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

かったら、以前は1、2月にやっていたと思いますので、1月の23日ということによろしいでしょうか。（拍手）では、そのようにさせていただきます。それから今、稲葉先生からの申し出がありました話では、協議事項はそのまま継続で、特に西村先生がおやりになっていらっしゃる学会指導の機能評価に関しては・・・。

徳島大学（西村） 中四国ICU地方会が重なるかもしれない・・・川崎でしたよね。確認できないのですけれども。

〇〇 あれはいつでしたかね。

徳島大学（西村） 金曜日。

〇〇 すいません、ちょっと今調べているのですけれども・・・。

徳島大学（西村） 金曜日にされる。

〇〇 いや、金曜日に評議員会ですね。

徳島大学（西村） 土曜日ですか。

熊本大学（木下） では、木曜日だったらいいということ・・・。木曜日だと・・・。

金沢大学（稲葉） 過去には木曜日が結構多くなかったでしたか。金曜日とかですと、学会とかが重なって、金、土、日と昔は学会が多かったですから。看護師さんの方では、例えば木曜日はダメだとか、そういうのは。

〇〇 中四国のICU地方会は来年1月31日です。ですからそこは大丈夫です。

徳島大学（西村） はい、大丈夫でした、すみません。

金沢大学（稲葉） なるべく金曜日ですかね、まあ今日も皆様方ぜひ金沢でお金を落としていって、熊本も大変美しい町ですので・・・。

熊本大学（木下） よろしいですか。ちょっと話しが途中になりましたが、この学会指導の機能評価をできるだけこのメンバーが協力してデータを西村先生の方へお送りしていただいて、その結果をそれまでに間に合えば集計して、ご報告いただくのが1点と、それからもう1点は鳥取大学の斎藤先生にお願いしまして、HCUとICUの機能に関する全国調査をしていただいて、その集計結果をご報告いただくということで、そうしますと、今回オブザーバーに加える公立大学にも同じような質問用紙を送っていただいて、データを集めると。

金沢大学（稲葉） そうですね。

熊本大学（木下） 任意でご回答いただくのですけれども・・・。

徳島大学（西村） これはICU学会でやりますので、関係ありません。私立大学も一般の病院も。

熊本大学（木下） 斎藤先生の方には、このメンバーに加えて、次回オブザーバーでご参加されるかもしれない公立大学とそれから産業医大、自治医大、防衛医大にも同じ質問用紙を一応送付していただいて、ご協力をお願いしていただいたらよろしいのではないかなと思うのですが。

鳥取大学（斎藤） 産業医大もですね。

第23回 全国国立大学病院集中治療部協議会 議事録

期日：平成20年3月7日（金）

会場：金沢大学医学部記念館

金沢大学（稲葉）　ですから、この会が終わりましたら、まあ参加していただけるとありがたいということです。私共のほうから、金沢大学の方から公立大学の方へ「こういう結果になりましたので次回から参加していただけますか」という形で案内を出すのは、出しておけばアンケートしました時に話が通じるかもしれません。そこまで私共の金沢大学のほうでやらせていただいて、あと次回お願いするという形にさせていただきますか。

熊本大学（木下）　それから本調査に対しましては、次回は全大学に回答していただくということで。救急部協議会と同じように、この協議会に先立って看護師の会をしていただくということで、うちの方は看護師長に話を通しておりませんので、回りの看護師長会の切り盛りが・・・、できれば今回出席された方が司会をお願い・・・、看護部会の司会をどなたかにやっていただければ・・・。

金沢大学（稲葉）　今回出席された方々の互選で司会を決めていただけますでしょうか。9人いらっしゃるようですので。来年ももちろん集中治療でいらっしゃるということが大事だと思うのですが、もう辞めようと思っている方はしかたないですが・・・。

熊本大学（木下）　申し訳ないのですが、金沢大学の師長さんに第1回の看護部会の司会をやっていただけるとありがたいのですが。

金沢大学（稲葉）　うちの師長は辞めませんので・・・、よろしいですかね。

熊本大学（木下）　それでは繰り返しになりますが、1月23日金曜日ということで、用意させていただきますのでよろしくお願いいたします。（拍手）

金沢大学（稲葉）　以上でこちらのほうで用意した議事は終了でございます。それでは皆さまお疲れ様でございました。第23回の集中治療部協議会をこれにて終了させていただきます。お気をつけてお帰り、または夜、美味しいものを食べて帰っていただければと思います。

金沢大学医事課課長（西川）　どうもありがとうございました。お帰りの際は身の回りをもう一度ご確認していただいて、お忘れ物のないようにしていただければというふうに思いますので。本日はどうも本当にご苦勞様でした。ありがとうございました。